



赤池ひろもと 後援会だより No.8

＜挨拶＞

去る9月議会におきましては、令和6年度決算認定をはじめ、物価高騰や子育て、防災などに対応する大きな補正予算が組まれ、市民生活を守るために重要な議論を重ねました。



2025.11.10 発行

ホームページ

◆赤池ひろもと後援会事務所：富士宮市万野原新田 3045-23

発行責任者： 佐々木 知

電話番号：0544-23-7850

キー坊一だよ

赤池ひろもと マスコットキャラクター

今回の議会のポイント！（9/12 開会）

富士宮市のフジ桜、カエデ、ヒバリ、がいるよ！

① 令和6年度決算の認定！



昨年度の市の決算が審議され、「堅実で将来に備える財政運営」が評価されました。限られた財源の中で、福祉や教育、防災などのバランスを保ちながら着実に成果を上げています。

② 物価高騰への対応！



給食費や公共施設運営費の負担増に対し、市は支援を拡充。子育て世帯や事業者への影響を抑えるための補助金が組まれ、生活を守る施策が進みました。

③ 防災・環境対策の強化！



非常用電源の整備や河川・道路の維持改良、ゼロカーボン推進事業など、安全対応と環境保全の強化が図られました。

これらはすべて「安心して暮らせるまち」を守るために投資であり、富士宮の未来を見据えた議会となりました。

＜ひろもとの一口講座＞第5回

富士宮市の“財政のゆとり”を示す指標

「経常収支比率」を知っていますか？

★経常収支比率とは？

市の財政のうち、職員給与や福祉、借入金返済など、毎年必ず支出されるお金がどれほどを占めているかを示す数字です。

家庭でいえば、「家計の自由度」を表す指標です。

★富士宮市の経常収支比率は？

R.6 93.8%（全国平均は約95%前後）と比べると堅実な水準ですが、余裕が大きいとはいえません。100%に近づくほど自由に使える財源が減り、新しい事業や将来への投資が難しくなります。

★これからの課題と方向性

物価高騰や人口減少の影響を見据えながら、「支出の見直し」と「投資の重点化」により、持続可能な財政運営を続けていくことが求められます。

◎ひろもとコメント

富士宮市の財政は決して楽ではありませんが、必要な福祉・教育・防災などを守りながら、将来への投資も怠らない“バランス型”的運営を続けています。家計にたとえるなら、「無駄遣いはせず、必要なところにはしっかり使う」そんな姿勢です。市民の安心を守るために、これからも堅実な財政を保つつつ、次の世代に負担を残さない市政を目指します。

現在、複式学級は5校です。今の乳幼児世代が入学する頃には8校へ増える見通しです。人口減少が進む中、子どもの学びと地域のつながりをどう守るかが大きな課題です。皆さんと共に、富士宮市の未来の教育と地域の姿を考えます。

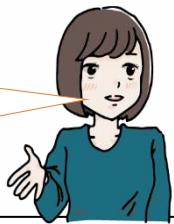
子どもたちの未来を守るために。



少子化の時代でも、子どもたちの笑顔を絶やさない。地域と学校が一緒に未来をつくるまち、富士宮へ。



花子から、「ひろもと」の議会一般質問の紹介です



● 減塩対策の強化と地域連携による健康支援について

特定健診に加え企業健診データも活用し、健康課題を「見える化」。職場や地域での減塩チェック講座など、市民の実践支援を提案。

● 教員による不祥事を未然に防ぐための再発防止策について

スマホや端末の使用ルール、倫理研修の充実を確認。未然防止のため、管理体制の点検と啓発の強化を要望。

教育長より、「教職員の信頼回復に向けて、研修や指導の徹底を図り、再発防止に努める」との答弁を頂きました。保護者と子どもが安心して学校生活を送れるよう、今後も注視してまいります。



写真：旧問屋場

自分の足で歩き、ガイドさんの話を聞くことで、歴史を肌で感じる貴重な時間になりました。
学ぶことの楽しさをあらためて実感しました。

十月二十二日富士川舟運
フィールドワークに参加しました。

<あとがき>

秋も深まり、日ごとに富士山の姿が美しく映える季節となりました。

日頃より赤池ひろもとの活動に温かいご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

後援会会長 佐々木 知